

おやこ一冊読書

平成23年度から，鹿児島県立図書館では「おやこ一冊読書」の取組を呼びかけています。

「おやこ一冊読書」ってなあに？

一冊の本を親と子が一緒に読み味わう読書の方法です。

「おやこ」には，兄弟姉妹，祖父母と孫，先生と生徒，地域の大人と子ども，友だち同士なども含みます。

「おやこ一冊読書」にはどんなよさがある？

1 親子の絆が深まります。

喜びや悲しみを共有したね。

寄り添っているお互いの温もりを感じたね。

物語に含まれる人の生き方や考え方を語り合ったね。

語り合ったことで，お互いの思いを知ったね。



2 一冊の本をじっくりと読む習慣が身に付きます。

読書というと，何冊読んだかといった冊数ばかりに目が向きがちですが，一冊の本をじっくりと繰り返し読むということもまた大切です。

どのように取り組めばいいの？

読み聞かせなど家族と一緒に20分程度本を楽しみましょう。

親が，子どもの頃に読んだ思い出の本を薦めてみましょう。

子どもが読んでおもしろかったという本を，親も読んでみましょう。

誕生日などに本をプレゼントしてみましょう。



親子で読んで，楽しいひと時を過ごせたら……。

親子で感じたことを語り合えたら……。

子どもが繰り返しその本をもってきて読んでほしいと言ったら……。



その本は **「宝本」** です。

1日20分読書で出会える「宝本」

～絆を深め、感動を味わい、
自分を見つめる大切な一冊～

「1日20分読書」とは、すべての子どもが読書に親しむように、1日20分程度の読書に取り組みましょうということです。

鹿児島県立図書館では、「1日20分読書」を通じて「**宝本**」の取組を呼びかけています。

「宝本」とは？

絆を深め、感動を味わい、自分を見つめる大切な一冊を
「**宝本**」と呼んでいます。

「**宝本**」は成長に応じて、次のように広がっていきます。



○おやこ一冊読書による、おやこのふれあいの中で生まれます。

- ・親子で読んで、楽しいひと時を過ごせたら……。
- ・親子で感じたことを語り合えたら……。
- ・子どもが繰り返して読んでほしいと言ったら……。

など



○楽しみながら読み、感動することで生まれます。

- ・主人公になりきって、夢中で読める本に出会えたら……。
- ・心をゆさぶられる本に出会えたら……。
- ・びっくりするような新しい知識に出会えたら……。

など



○じっくりと読み、自分を見つめることで生まれます。

- ・自分の生き方を見つめることができたなら……。
- ・自分の将来に夢や希望を持つことができたなら……。
- ・ものの見方、感じ方や考え方を深め豊かにすることができたなら……。

など

あなたも1日20分読書で
「**宝本**」を見つけてみませんか